

# ICT通信

秋田県立横手支援学校  
図書情報支援部  
平成31年1月15日発行  
第1号

## H30年度横手支援学校ICT活用事例Vol.1

ICT (Information and Communication Technology) は情報通信技術の略であり、教員の現場においてもパソコンやタブレット型端末、プロジェクター、電子黒板等のハードやアプリケーション等のソフトを授業の中で応用する技術を指しています。新学習指導要領においても「授業の中でICTを効果的に活用し、授業方法の改善を図ること」と記されております。

さて、今年度の横手支援学校の授業作りの中でICTをどのように活用したのでしょうか。活用事例として紹介したいと思います。

### 生活単元学習の授業から

＜ねらい＞映像と音楽、ナレーションを組み合わせた読み聞かせで、物語の世界に浸ることができるようにする。

#### ＜プロジェクターとスクリーンによる読み聞かせ＞

- ・絵本のページをパワーポイントに取り込んだ。効果音や切り替えの音楽は、事前に録音したものを短く編集して使用した。ナレーションは画面に合わせて生徒たちが行った。

#### ＜生徒の様子＞

- ・パソコンの得意な生徒のアイデアで、パワーポイントを使用した読み聞かせを行った。招待した保育園の子どもたちは大きな画面に集中し、物語の世界に浸っていた。



『powerpoint』

### 家庭科の授業から

＜ねらい＞家庭での食事のバランスを考える。

#### ＜食育サイトを活用した食事の栄養バランス評価＞

- ・家庭での1日の食事について、食べたものを『主食』『副菜』『主菜』等のメニューの中から選択することで、栄養バランスについて評価し、過不足を把握することができた。

#### ＜生徒の様子＞

- ・選択するメニューがたくさんありイラストで描かれているため、生徒たちは楽しみながら活動していた。また友達同士で紹介し合う様子も見られた。

『明治の食育サイト』



### 特別活動の授業から

＜ねらい＞離れた場所から学校行事に参加する。

#### ＜ビデオ通話アプリを使った遠隔地からの学習参加＞

- ・本校は校舎が離れているため雪の降る期間は、車いすを使用している生徒は移動が困難になる。そのため体育館で行われる儀式的行事はタブレットを活用して参加できるよう環境を保障している。ビデオ通話は『ハングアウト』の他にも『FaceTime』や『LINE』等のアプリでも可能である。

#### ＜生徒の様子＞

- ・タブレットを画面の大きいテレビにつなぐことで、校歌を一緒に歌ったり、校長先生の話真剣に聞いたりすることができていた。

アプリ『hangouts』  
での中継

